

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報)
2025 年第 33 週 (8 月 11 日～8 月 17 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページにてご覧ください。 <https://id-info.ihs.go.jp/>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減	
	今週	先週				今週	先週		
インフルエンザ	0.26	0.31	-0.05	↓	手足口病	0.18	0.65	-0.47	↓
COVID-19	5.00	4.96	+0.04	↑	伝染性紅斑	0.88	2.11	-1.23	↓
急性呼吸器感染症	20.45	42.96	-22.51	↓	突発性発しん	0.17	0.33	-0.16	↓
RS ウイルス感染症	0.21	0.55	-0.34	↓	ヘルパンギーナ	0.43	1.44	-1.01	↓
咽頭結膜熱	0.25	0.52	-0.27	↓	流行性耳下腺炎	0.02	0.07	-0.05	↓
A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.60	1.35	-0.75	↓	急性出血性結膜炎	0.03	0.00	+0.03	↑
感染性胃腸炎	2.04	5.69	-3.65	↓	流行性角結膜炎	0.06	1.23	-1.17	↓
水痘	0.16	0.25	-0.09	↓	※2025 年 4 月 7 日 (第 15 週) より、定点数が変更となりました。				

基幹定点の罹患数：細菌性髄膜炎 1 人 (0.07 人)、無菌性髄膜炎 5 人 (0.36 人)、マイコプラズマ肺炎 7 人 (0.5 人)

※括弧内は定点あたりの患者数

※2025 年 4 月 7 日から、急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ (急性呼吸器感染症 (ARI)) をご覧ください。 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari.html>

COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) に関する情報

COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)

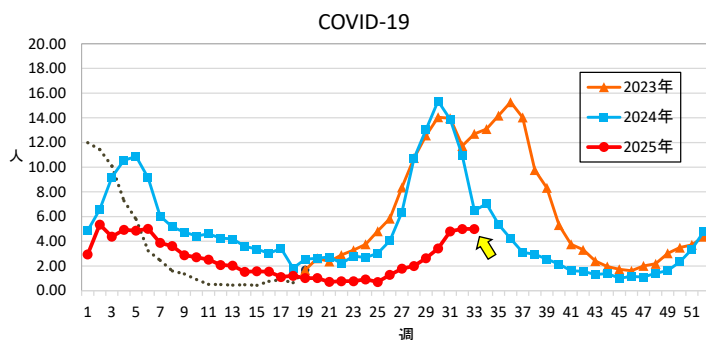
兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **5.00 人** (先週 4.96 人 (修正有)) と増加しました。

地域別では宝塚保健所管内が 25.50 人と最も多く、丹波保健所管内 16.75 人、赤穂保健所管内 15.67 人となっており、年齢別では 50～59 歳及び 80 歳以上が 13%、70～79 歳が 12%、30～39 歳、40～49 歳及び 60～69 歳が 11%となっています。

また、社会福祉施設等においては、今週 6 件 (先週 8 件 (修正有)) の集団発生が報告されています。

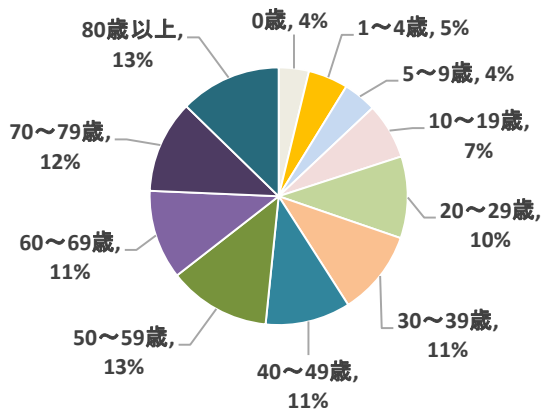
県民の皆様には引き続き 3 密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。

兵庫県内の定点当たり報告数推移



2023 年 18 週以前の数値は HER-SYS データに基づく定点医療機関からの患者数 (参考値) (国の提供データに基づく)

新規感染者の年齢階級別割合 (第 33 週)



※2023 年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

全数把握感染症

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 9 人 （保健所：尼崎市 1 人、西宮市 1 人、加古川管内 3 人、加東管内 1 人、赤穂管内 1 人、丹波管内 1 人、洲本管内 1 人）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2 人 （①神戸市；有症者；女性 60 歳代；O157 VT1；感染地域：国内；感染経路：経口感染、②伊丹保健所管内；有症者；女性 10 歳代；O 不明 VT1VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染）（累積報告数 55 人；有症者 31 人、HUS 2 人）
4 類感染症	重症熱性血小板減少症候群（SFTS） 1 人 （加古川保健所管内；女性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） 日本紅斑熱 2 人 （①洲本保健所管内；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染、②洲本保健所管内；女性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） レジオネラ症 3 人 （①尼崎市；肺炎型；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、②姫路市；肺炎型；女性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：その他、③明石市；肺炎型；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染）
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 人 （明石市；男性 70 歳代；肺炎桿菌；感染地域：兵庫県；感染経路：不明） 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人 （神戸市；男性 50 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：その他） 侵襲性髄膜炎菌感染症 1 人 （伊丹保健所管内；男性 50 歳代；感染地域：国内；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明） 侵襲性肺炎球菌感染症 1 人 （尼崎市；女性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無） 水痘（入院例） 1 人 （西宮市；臨床診断例；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：接触感染；ワクチン接種歴：無） 梅毒 2 人 （①尼崎市；無症状病原体保有者；男性 60 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、②朝来保健所管内；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性 20 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触） 百日咳 35 人 （保健所：神戸市 10 人、尼崎市 6 人、姫路市 5 人、西宮市 1 人、明石市 2 人、伊丹管内 2 人、宝塚管内 2 人、加東管内 4 人、龍野管内 3 人；性別：男性 13 人、女性 22 人；年齢群：0 歳 1 人（ワクチン接種歴：無）、2 歳 1 人（ワクチン接種歴：4 回有）、5～9 歳 8 人（ワクチン接種歴：4 回有(7 人)、不明(1 人))、10～14 歳 16 人（ワクチン接種歴：4 回有(8 人)、3 回有(1 人)、不明(7 人))、15～19 歳 2 人（ワクチン接種歴：不明）、20 歳代 1 人（ワクチン接種歴：不明）、30 歳代 3 人（ワクチン接種歴：無(1 人)、不明(2 人))、40 歳代 1 人（ワクチン接種歴：不明）、60 歳代 1 人（ワクチン接種歴：不明）、70 歳以上 1 人（ワクチン接種歴：不明）（累積報告数 2,740 人、うち病原体遺伝子検出 2,025 人）
2025 年 32 週までに診断されたものの報告遅れ	結核 1 人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人 梅毒 1 人 百日咳 9 人

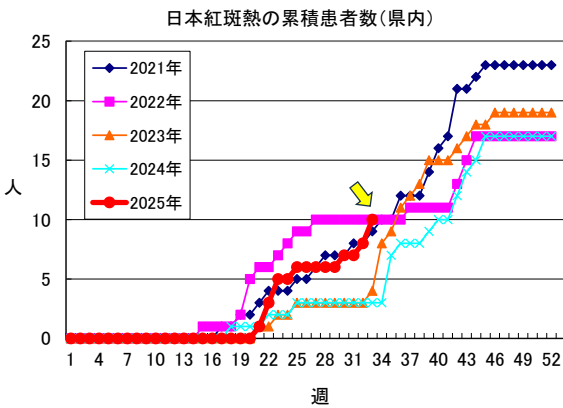
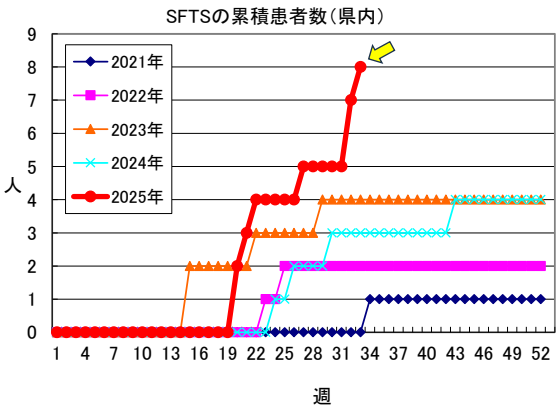
ダニ媒介感染症（重症熱性血小板減少症候群・日本紅斑熱）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告が今週は **1 人**あり、今年の累計患者数は **8 人**となりました。また、**日本紅斑熱**は今週 **2 人**、今年の累計患者数は **10 人**となっています。

これらは主に病原体（ウイルスやリケッチア）を保有するマダニに咬まれることで感染します。

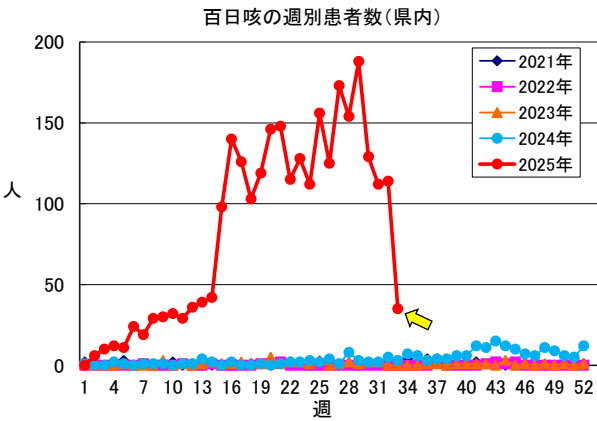
SFTS は SFTS ウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は 6～14 日で、治療薬はなく対症療法となっています。一方、日本紅斑熱はリケッチア・ジャポニカを病原とし、主な症状は発熱、発疹、刺し口が赤く腫れ中心部がかさぶたになるのが特徴です。潜伏期間は 2～8 日で、治療にはテトラサイクリン系の抗菌薬等が投与されます。

マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が必要です。また、山野へ入った 2 週間以内に発熱や発疹が出た時はすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。



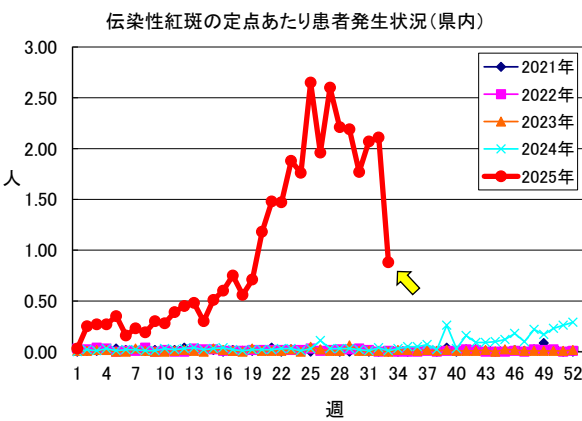
目で見える動向（県内）

百日咳



今週 **35 人**の報告があり、今年の累積患者数は **2,740 人**となりました。

伝染性紅斑



定点あたり患者数は今週 **0.88 人**（先週 2.11 人（修正有））と減少しました。
地域的には、神戸市、姫路市、宝塚保健所管内で警報レベルとなっています。

この週報はホームページ（https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html）にも掲載しています。

2022 年 4 月 1 日から H P が新しくなりました。旧 H P は閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <https://id-info.jihs.go.jp/> から国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトの週報（IDWR）がダウンロードできます。